

ご存知ですか？ インターネットの影

インターネット・携帯電話の普及に伴い、これらの使い過ぎによって生徒の生活習慣が崩れるケースや、深刻なトラブルも発生しています。八名中学校では携帯電話の持ち込みの禁止、ネットのフィルタリング、授業での情報モラルの指導等を行っていますが、**家庭のご協力も不可欠なもの**となっています。生徒自身が、「被害者とならない、加害者とならない、加害行為に手を貸さない」ために、保護者の皆様にもネット社会の影の部分について、考えていただきたいと思ひます。

事例1 「中学生の動画サイト（You Tube）への投稿」

- ① 文化祭の様子を投稿
- ② 自宅で友達とダンスを踊っている姿を投稿
→ 本人の知らない間に、別のサイト（怪しいサイト）でも閲覧可能に



だれもが気軽に動画サイトへ投稿や閲覧ができるようになりました。しかし、サイトへの投稿には多くの問題を含んでいるものがあります。

<ここが問題！>

・許可なしに投稿することはできない。

学校行事であれば学校長が、自分以外の人が登場していればそのすべての人の許可が必要です。音楽（BGMとしても）や、画像等を利用した場合はその著作権者に許可を得ることも必要です。ネット環境やパソコンは保護者のものであるため、保護者の許可を得ることも必要です。

・事件に巻き込まれる可能性がある。

投稿者の知らない間に、別のサイトにリンクが張られる可能性があります。

ダウンロードされ、別の人間に利用される可能性があります。

個人が特定される危険性があります。

世界中に情報が広がる可能性があります。 → 一度公開された情報は消すことができません！

☆ 正しい利用法で情報を投稿することはできますが、様々な面で責任のとれない中学生が投稿することは勧められません。何かあったときには、保護者の責任になります。

●こんな事例も…

少年漫画雑誌を動画ファイル化し、動画共有サイトにアップロードしていた14歳の男子中学生が、著作権法違反（公衆送信権侵害）の疑いで逮捕された。

事例2 「オンラインゲーム・携帯ゲームの落とし穴」

- ① オンラインゲームに熱中しすぎて、昼夜逆転の生活に
- ② ゲームのアイテムを売買して小遣い稼ぎ…と思ったら
→ アイテムだけ取られて、アカウントはく奪。お金を払ったのに、アイテムがもらえない!
- ③ 携帯ゲームで高額請求！
→ 携帯電話のゲームは無料でも、パケット代はかかります。もっと楽しく遊ぶためには、有料アイテムもほしくなり…。



オンラインゲーム（インターネットを利用した参加型のゲーム）は自宅にいながら、日本（世界）各地の仲間と協力し合ってプレイできたり、情報交換をしたりと楽しみ方も無限大。しかし、レアアイテムをめぐる様々なトラブルも発生しています。

<ここが問題！>

・ネットの世界に昼夜はない。

様々な人が参加しているネットゲームの世界では、どんな時間帯でもゲームに参加している人がいます。ゲームに熱中し過ぎると社会生活との時間のずれが生じてしまいます。授業に集中できない、宿題を忘れるなどの問題も。高い自己管理能力が必要です。

・レアアイテムがほしい！ 何をしてもいいんですか？

ゲーム上で使用できるアイテムの売買サイトもあります。代金を支払ったのにアイテムをもらえない、アイテムを売ったのに代金をもらえないというトラブルが発生しています。中には他人のID、パスワードを盗み、勝手にアイテムを売り払い、何十万も得た10代の少年が捕まったという事件もありました。

☆ オンラインゲームが悪いというわけではありません。ゲームをする時間を決める、コンピュータは親の目の届くところに置く、明るい場所でゲームをするなど、親子でルールを作ることが大切です。

その他の事例 「それは ワンクリックから」

- ① 知らない人からのメールを開く
 - チェーンメール（不幸の手紙のようなもの）なら迷わず削除。
 - 何かの請求！ まずは保護者に相談。
 - 危ないサイトへの誘導（フィッシング詐欺、ウィルスへの感染）、無視するのが鉄則！
- ② 個人情報の入力、発信
 - ネットに流出した情報を完璧に削除することは不可能。入力する前に一考を。
- ③ タダより高いものはない
 - 無料掲示板、無料ゲーム、無料で行うためには何か秘密が。広告収益だけでなく、ときには個人情報の入手を目的にしたり、ウィルス感染の危険も。



インターネット上には多くの危険があることを理解したうえで、セキュリティソフトの導入、フィルタリングの設定、家庭での約束を決めておくことが重要です。

安全にインターネットを利用するための3つの約束

◎「ネチケット（インターネット上のエチケットのこと）」を守ろう

自分がされてイヤなことは誰だってイヤなこと。相手のことを思いやることが大切です。インターネットの相手はパソコンや携帯電話ではなく、その先にいる人間です。

◎自分の身は自分で守ろう

インターネットの世界では、「自己責任」「自己防衛」が大原則です。ハイテク犯罪は気がつかないうちに被害にあうだけでなく、加害者になってしまうこともあります。チェーンメールや著作権侵害などがそうです。特に、ユーザIDとパスワードは悪用されないように、管理はきちんとしましょう。

◎物事を判断する力を身につけよう

インターネットには、新しい情報も古い情報も、ホントの情報もウソの情報もあります。何でもすぐに信じたり、答えたりしてはいけません。

☆困ったことがあったらすぐに学校に連絡をしてください。